

## ～あかるく なかよく たくましく～

前回の学部だよりの発行から随分と時間が経過してしまいました。その間、新型感染症が再び猛威を振るい始めました。連日のニュースでは、冬に向けて、より感染者数が増えていくのではないかという専門家の言葉が報じられています。先行きが見えない事態に不安が募ります。



それでも、「明日」になれば太陽は東から昇り、朝晩の冷え込みにより周囲の木々の葉は色を変え、地面へと舞い落ちていきます。こうした日常を大切に、そして何よりも、周りの人とのつながりに感謝しながら、生活の中に少しでも希望を見つけて過ごしていきたいなと思っています。

### ○「ねえ、せんせい、きこえているの？」

私は、子供と関わる時に大切にしていることがあります。それは、子供の感じていることや思っていることを、一つ一つ見逃さないように受け止めて関わることです。しかし、先日、ある男の子（A君）の気持ちを受け止めることができず、「ねえ、せんせい、きこえているの？」と言われてしまいました。

この日、私は、B君に一日の予定をイラストや文字で書きながら、説明していました。B君は、「なかにわ、いく！トンネルつくる。」などと、自分のやりたいことを懸命に言葉で表現していました。私は、そんなB君の言葉を聴いていました。

ちょうど、そのとき、A君が登校してきました。A君は、朝、お母さんと別れることが寂しく、少々、悲しそうな表情をしていました。A君は、私にそうした気持ちを伝えなかったのか、B君と私の間に入り込み、「せんせい。せんせい。」と話し掛けてきました。

しかし、私は、B君との話に夢中になっており、A君に「ちょっと待っていて。」とだけ伝え、B君との話を続けてしまいました。B君との話を終え、私は、A君に近付き、「Aちゃん、ごめんね。なあに？」と話し掛けました。すると、A君は、私の目をじっと見つめ、「ねえ、せんせい、きこえているの？」と悲しそうな表情でつぶやきました。私は、A君の表情、言葉から、自分が何と罪深いことをしてしまったのだろうか、と痛烈に反省するとともに、A君に対して本当に申し訳ないことをしてしまったと思いました。

過去を取り戻すことはできませんが、あのとき、私は、まず、B君に「A君が何かを言いたいみたい。ちょっと待ってね。A君と話したら、また、話を聴かせてね。」と言い、次に、A君の目を見て「A君、おはよう。今、B君とお話しているから、ちょっと待ってね。後で、ちゃんとお話しようね。」と話すと、A君とB君に誠実に向き合うべきでした。「その時」の子供との関わりは、一期一会であり、「今」を大切にしたいと痛感した出来事でした。（文責：小学部主事 塚田）

## 今後の小学部行事のお知らせ

今年度は、新型コロナウイルスの拡大を防止するために、様々な学校行事が中止となり、日々の授業にも多くの制約が生じています。こうした状況の中、少しでも子供たちが季節の変化を感じたり、日ごろの学習の成果を他学級の友達や教師とともに発揮したりする場をつくりたいと考え、感染症対策に配慮した上で、小学部では、以下の二つの行事を計画しました。

子供たちにとって楽しく、充実した時間となるように、小学部の教師全員で協力しながら、準備や実施に努めて参ります。なお、小学部「お楽しみ会」は保護者の方の見学はできませんが、「マラソン大会」は、感染症対策を講じた上で、保護者の皆様に、直接応援していただけるように計画したいと考えております。

### <小学部「お楽しみ会」> 12月23日(水) 10:30~11:20

各学級をオンラインシステムでつなぎ、季節にちなんだ歌を歌ったり、サンタクロースからプレゼントを配ってもらったりします。サンタクロースが各学級にプレゼントを配る様子を、各学級にライブ配信する予定です。

なお、プレゼントは、障害のある方が働く「日総びゅあ株式会社」に、お菓子の詰め合わせを用意していただきました。クリスマスのプレゼントですが、お菓子代として個別指導費から、250円を徴収させていただきます。御協力をお願い致します。



### <小学部「マラソン大会」> 令和3年2月1日(月)、予備日：5日(金)

校地内及び、研究所の敷地内をマラソンコースとし、子供たちが自分のもてる力を存分に発揮しながら、元気に走り抜けます。「三密」を回避するために、走るグループを分けて実施する予定です。詳細は、来年1月中旬にお伝えする予定です。お楽しみに。

